

# JSS ニュース

## ジャパニーズ ソーシャル サービス

Japanese Canadian Cultural Centre, 2nd Floor, 6 Garamond Court, Toronto, Ontario M3C 1Z5  
電話: 416-385-9200 ファックス: 416-385-7124 Eメール: office@jss.ca ウェブサイト: www.jss.ca

## JSSの義援金、DPI に到着

(以下は障害者インターナショナル(DPI) ; 特定非営利活動法人ディーピーアイ日本会議から JSS に寄せられた手紙の抜粋です。)

ジャパニーズ・ソーシャル・サービス殿

東日本大地震及津波の被害に遭われた身体障害者の皆さんに代わって私共は、ジャパニーズ・ソーシャル・サービスが、東北・関東大地震の被害を受けた身体障害者のための救援本部に寄せられた貴重なご寄付に対して、心よりお礼を申し上げます。

救援本部は多くの地域障害者団体および生活自立ネットワークと協力して、障害を持った方々の日々の生活が維持できるよう緊急介助を実施し、また国ないしは地域の政府や自治体機関との交渉にも当たっております。

私共は地震発生時より、障害者並びにその支援者や家族に対する緊急及び継続的な支援を行うため、福島、宮城及び岩手各県に、地域救援センターを開設致しました。この救援センターが行う主な業務は以下の通りです。

- ・ 地震ないしは津波の被害を受けた地域の、介助が必要な障害者の特定
- ・ 障害者の必要に応じたアシスタントないしはヘルパーの派遣
- ・ 自宅ないしは避難所で生活している障害者のための救援物資や医薬品の分配
- ・ 緊急避難所ないしはその他の場所にいる、顕在していない障害者への支援活動として情報提供など

(2 ページに続く)

## JSSによる被災障害者への義援金

JSS は、3月11日に起きた東北・関東大地震及び津波の被害者のために\$7,830の寄付を集め、集まった寄付は障害者インターナショナル(DPI)に贈られました。DPIの本部はカナダにありカナダ収入庁から慈善団体の認定が得られているので、寄付をいただいた方々には課税免除の領収書が発行されました。さらに JSS は DPI から、集まった寄付は全て今回の災害救援活動のために使われ、当該金の送金費用と銀行による課金以外がカナダで消費されたり、事務処理費として使われることはないとの確約を得ております。

この寄付金は、JSS が救援活動のために設けた特別専用口座に、本年6月末までに寄せられました。寄せられた寄付金には、ミシサガコーラルソサイエティー (MCS) の、4月17日に行われたコンサートの会場に仕立てられたテーブルで、コンサート前後に集められた\$385が含まれています。JSSの理事会はMCSの会長 Joanne Bidiniさん宛に、ご自身並びにコーラス全員の、日本で起きた災害の被害者への心遣いを感謝する手紙を出しました。障害者インターナショナル(DPI)日本会議の常任委員であり、東北関東大震災障害者救援本部の中西正司代表からは、JSSからの寄付がどのように使われるかの説明を加えた礼状をいただきました。この礼状の要約を掲載しておきます。

(池田デービッド記)



**Japanese Social Services**

A non-profit, charitable organization providing culturally relevant services in Japanese and English

2011年  
秋冬号

# トロントチャレンジでトーク須山さんと友人たちは、何千ドルもの寄付を集めました

トーク須山さんと彼の友人や支援者たちは、6月12日に行われた恒例のトロントチャレンジで、ほぼ\$14,500の資金を集めました。トロントチャレンジは今年で20年目を迎えた、毎年行われるウォークソンです。トロントにある数多くの、いろいろなコミュニティーに属する高齢者を援助する非営利組織が資金募集を行います。徒歩ないしは走る距離は1kmまたは5kmです。

この日の朝は、散歩をもってこいの、気持ちのよい天気でした。

上の写真に写っているトーク須山さんや友人のミッツ伊藤さんなどが、日系社会での広い人間関係を通じて集めた多くの「JSS」宛の寄付申し込みによって寄付が集まりました。JSSの事務を担当している北村さんの話では、須山さんは、まだすべての申し込みの集金が終わっていないので、寄付金の総額はさらに増えるだろうとのことでした。

JSSは、理事であるとともに基金募集を強力に実施し、人事委員であり、時には臨時にカウンセラーも努めるトーク須山さんに深く感謝しています。



準備運動中のトーク須山さん（中央）とミッツ伊藤さん（左）

## 「JSSの義援金、DPI に到着」 1 ページから

- ・ 生活自立ネットワークと協同して、障害者アシスタント並びにヘルパーの訓練並びに派遣を全国規模で実施

- ・ 救援活動のモニタリング
- ・ 現物ないしは資金の寄付要請並びに獲得資金の障害者のための活用

この甚大な被害を及ぼした災害を、障害を持った人々が克服し、私共が目標を達成するためには、まだまだ道のりは遠く、引き続きご援助をお願い致したく存じます。私共も、地域ないしは全国であらゆる努力を惜しまず、障害者がともに生活できる社会の実現に向けた唱導を続けます。

有難うございました。

中西正司

代表

東北関東大震災障害者救援本部

## JSSのウェブサイト

「[www.jss.ca](http://www.jss.ca)」には、私たちの活動に関するよりたくさんの方が掲載されていますので是非ご覧下さい。



Jean Peasah, former Board member and counsellor

# 会長メッセージ

前川威男

この数ヶ月間、JSSの理事会は月例の会議で、ミッションステートメントの見直しを進めています。これは、トロント仏教会で枢要な活動をされているデニス間所さんが提案され、討議を主導していただいているものです。

この10数年、JSSは以下のような基本方針を掲げて活動してきました。

## 使命宣言 (Mission Statement)

ジャパニーズ・ソーシャル・サービスは、日本文化に何らかのかかわりを持つ人々に、生活一般の情報提供、カウンセリング、紹介/照会、啓蒙活動および問題発生予防活動などのソーシャルワークを、日英両語で行う。(英語版は本紙英語部分にあります。)

この方針には誤りなどは全くありませんが一方で、現在ないしは将来JSSが行う活動がどのようなものなのかよく分からないと言う声がある事も事実です。間所さんはそういった印象を持たれ、理事会に見直しを提案されました。で、討議が進められているのです。

JSSの活動は、カウンセリングだけではありませ

ん。国際結婚や、不自由な英語で育児をすすめる若いお母さんたち、精神的な健康が保てない、周囲との接触が思うようにできず孤立してしまった方々のためなど、多岐にわたるプログラムも実施しています。こういった活動の内容は範囲が広いので短い言葉で表現する事が難しく、場合によっては表現が不足だったり、含むべき中身を見落としたり、事態を表現しきれない場合もあります。さらにJSSは、日本語を主言語にしている人々以外にも、英語が主言語の日系カナダ人の方々や日本の文化の影響を生活のどこかに持っている人々も当然サービスの対象にしているので、限られた数のカウンセラーによる活動に加えて多くのプログラムを設け、活動を広範囲に進めなくてはならないと考えています。言い換えるとJSSは、「なんでもやる」団体なのです。言葉を変えるとJSSは、「困っている人がいたら、何とかして助けたい」と考えている団体なのです。でもそういう表現ではJSSが出来ることと出来ないことの区別が付きません。

今私たちは、誰にでも分かりやすい活動の基本方針を討議中で、目的に沿うような結論をできるだけ早く出そうとしています。この討議に、できるだけ多くの方が参加されるよう、期待しています(JSSの理事会は、議決権は理事が持っていますが、討議への参加はどなたでもできます。日程については事務局に問い合わせてください)。

## ボランティア求む

これまであまり起きなかったことですが、JSSではこのところ、プログラム実施のためのボランティアの数が不足しています。たとえば、10月から新たに、8週間にわたって開催を予定したプログラム、「JSS会話クラス」は、チャイルドケアのためのボランティアや英会話のインストラクターが不足したため、延期しざるを得ませんでした。

これ以外にも、ボランティア不足の影響が出ているプログラムがあります。そこでJSSは現在、チャイルドケア担当のボランティアを鋭意探しています。

一方、例えば、Wynford Seniorの皆さんに食べていただくランチを作る、Hot Lunchのようなプログラムでは、十分なボランティアが参加してくれています。JSSではこれまで、ボランティアが不足することはあまりありませんでした。これまでは、ワーホリや留学の若者たちが必要を満たしてくれていたのです。ところが日系会館の改修のためプログラムができなくなったこの2年間で、応募の数が少なくなってしまったのです。ボランティアコーディネーターの前川夫人や、プログラム委員長の傳法理事は、皆さんに事態を切り抜けるための協力を求めています。

前川会長は、「JSSでボランティアをすることで、それまで疎遠だった人々がコミュニティーに溶け込む機会になる。」と考えています。また、例えばCCE (Canadian Conversational English)で、クラスの指導役のボランティアをすることで、英会話を教える能力を高めるよい機会になります。

ボランティアを希望する方は、メール (general@jss.ca) ないしは電話 (416-385-9200) で前川夫人に問い合わせてください。

(池田デービッド記)

## ❄️ 年末恒例のホリデーライブ ❄️

今年も JSS は、トロントに住んでいる日本人や日系カナダ人の誰もが少しでも楽しく歳末を過ごせるようホリデーライブを行いますので、コミュニティーの皆さんのご協力をお願いします。

腐らない食べ物、おもちゃや防寒衣料品などを、市内のいくつかの組織やお店に置かせていただいているドネーション箱に12月下旬までにお寄せください。

よい年をお迎えになりますように。



### サーロ節子さんの表彰

サーロ節子さんが、これまで行ってこられた数多くの社会活動などの功績を讃えた、日本国の外務大臣表彰を受けられました。表彰の伝達並びに表彰状の授与式が、8月25日トロントの総領事館で、山本臨時総領事代行(サーロ夫人と同席の写真)によって執り行われました。

JSS の前身である JFS の主宰者であるサーロ夫人は現在、活動資金獲得のために JSS に力を貸して下さっています。

写真提供： e-Nikka

企業会員登録更新ありがとうございました。

**デイビスLLP法律事務所**  
**YAMAHA CANADA MUSIC**